

# 臨地の対人援助学

## ハワイの力 (resilience) と Kids Hurt Too Hawaii の強み(strength)

Science for Human Services connected to “the Land”: Resilience of Hawaii and Strength of Kids Hurt Too Hawaii

村本 邦子

Kuniko Muramoto

立命館大学

Ritsumeikan University

Key words: Hawaii, Land, Resilience

### 1. 問題

2016年1~4月、ホノルルに滞在し、レジリエンスに関する調査を行った。ハワイは自然と文化に恵まれた人気の高い観光地である一方、歴史的には先住民の権利と文化の剥奪があり、多くの移民を抱える多民族社会でもある。本報告では、子どものグリーフケアを行う非営利団体 Kids Hurt Too Hawaii (KHTH) について紹介し、臨地の対人援助学について考える。

### 2. KHTH の概要

KHTH は、2001年、Cynthia White と Hiro Ito によって設立された。現在は、子どもの支援機関が協働する Kukui Center で活動している。①死別、離別、フォスター・ケアを経験している子どもたちの支援 ②支援者と両親の研修 ③危機介入を行い、東日本大震災を受け、日本でも活動を展開している。

子どもの支援は、ピア・サポート・グループとメンタリング・プログラムからなる。グループは、死別、離別、フォスター・ケア、喪失一般を月1~2回、2時間のペースで、家族が持ち寄った食事を一緒に食べた後、Opening Circle、Play Time、Closing Circle の三部構成のグループ活動を行う。訓練を受けたスタッフが子どもにつき、あるがままに受け留める反応を返す。

メンタリング・プログラムは、ハワイの自然と文化を活かした活動を実践する他の支援団体との協働で定期的に行われている。中国の獅子踊りや日本語レッスンなど、多民族であることを背景に、子どもたちのニーズに合わせたプログラムも随時提供される。

### 3. ハワイの力が持つ力と KHTH の強み

報告者は、ボランティア・スタッフとして次のような活動に参加しながら、フィールドワークを行った。

- ① ボランティア・スタッフ養成講座 (4日間)
- ② サポートグループ (計14回)
- ③ ファンドレイジングのためのイベント (1日)
- ④ 東北の子どもたちとの合同キャンプ (3泊4日)
- ⑤ Cynthia White と Hiro Ito へのインタビュー

結果として浮かび上がってきたのは、ハワイの力が持つ力 (resilience) と KHTH の強み(strength)である。White と Ito は、それぞれ心理学、社会福祉学の専門的背景を持つが、活動の根幹にはそれぞれの喪失体験がある。死や離別は自然なものであり、他者と分かち合うことが必要だと考える。グループでは、毎回、初めに、参加理由 (誰をどのように亡くしたのかなど) を自己紹介する (パスする権利もある)。

元々の活動拠点はポートランドだったが、Queen Lili'uokalani Children Center (QLCC)の研修依頼をきっかけに、ハワイに根をおろすことになった。QLCC は、ハワイ王朝最後の女王リリウオカラニの遺志を継ぎ、孤児や貧困にある子どもたちのために、サーフィンやタロイモ畑など、先住民文化と結びつく支援を展開する。歴史的喪失を抱えるハワイという地が彼らと呼び寄せたようにも感じられる。

KHTH は、喪失体験を持つ子どもが、死をタブー視する社会のなかで孤立し二次的問題を抱えることを回避するために、喪失を病理化せず、ハワイという地が持つ自然、文化、歴史の力を信じ、最大限活用しながら、分かち合えるシステムを専門的に構築していた。

### 4. おわりに

津波で家族を亡くし、海を避けていた子どもたちが、ハワイの支援者たちの暖かく手厚い配慮の下で、波と戯れはしゃぎながら海とのつながりを取り戻していく姿は感動的だった。トラウマは関係性の破壊であり、関係の強化が力 (resilience) をもたらす。人ばかりでなく、コミュニティ、自然、文化、歴史との関係を含む。地の持つ力に着目し、自然な生活設定のなかで実現される対人援助の専門的実践と理論をさらに検討していきたい。

### 文献

村本邦子・中村正・荒木穂積 (2015) 『臨地の対人援助学：東日本大震災と復興の物語』 晃洋書房  
Lili'uokalani (1898/1990) *Hawaii's Story by Hawaii's Queen*. Honolulu: Mutual Publishing